

—各国駐日大使による特別講義—

新興国と日本の国際経済関係

International Relations between Emerging Countries and Japan

コーディネーター 経営学部教授 安部悦生

概要

各国駐日大使による講義。それぞれの国の経営事情、問題点、また日本との経済関係についての説明と今後のあるべき姿を提示する。

国は、新興国、中堅国の大使による講義である。スロヴェニア、モルディブ、アルバニア、ラトビア、ベネズエラ、アルメニア、コソボ、エジプト、バーレーン、ジャマイカの10カ国を予定している。

また、世界的な視点からこれらの国の位置を探り、日本との関係を考えていく。なお経済面、政治面とも、世界は激動しているので、予定が変更される可能性もある。

到達目標

各国の経済事情、経営における問題点、今後の日本とそれらの国との経済・経営関係についての理解を深める。たとえば、ジャマイカにおけるコーヒー生産の国際的意義と日本。また、こうした勉強の中から、「豊かな国際国家、日本」を担う、世界で活躍できるグローバル人材を育てていくことが主要な狙いである。

日程

1. コーディネーターによるガイダンス(4月15日)
2. スロヴェニア大使による講義(4月22日)
3. モルディブ大使による講義(5月13日)
4. アルバニア大使による講義(5月20日)
5. ラトビア共和国大使による講義(5月27日)
6. ベネズエラ・ボリバル共和国大使による講義(6月3日)
7. アルメニア大使による講義(6月10日)
8. コソボ共和国大使による講義(6月17日)
9. エジプト・アラブ共和国大使による講義(6月24日)
10. バーレーン王国大使による講義(7月1日)
11. ジャマイカ大使により講義(7月8日)
12. まとめ(7月15日)
13. まとめ(7月22日)

英語と日本語の双方による講義なので、英語力のアップにもつながります。

日時：毎週月曜日 5限 午後4時20分～5時50分

場所：リバティタワー 1105 教室